
















説明医師  
説明看護師(外来)  
看護師(病棟)

月日	月 日		月 日	
経過	当日(治療前)		当日(治療後)	
目標	○心身ともに安定した状態で治療を受けられる ○治療の流れや注意点が理解できる		○副作用が最小限で経過する ○感染・出血予防行動・貧血時の注意行動ができる	
検査	 身長、体重測定  適宜、血液検査、尿検査、心電図、胸部レントゲン実施		 必要時、血液検査実施	
食事	朝食は自宅			
				
処置・観察	入院時リストバンドを装着します(退院日まで装着します)		留置針を挿入します(PICC 挿入されている方は PIC から点滴を投与します) 治療終了後抜去します 治療後、頭痛・吐き気・足のしびれ・めまい等の症状がないか伺います	
			退院時リストバンドを外します 看護師が穿刺部の観察を行い、出血、腫脹、痛みがなければガーゼを外します	
 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	 持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください		 腰の骨と骨の間に針を刺し、髄腔内に薬剤を注入します   横になり、膝を屈曲し、腹部に引き付けるように両手で抱え込んだ姿勢で行います   必要時、点滴を行います	
行動	 制限はありません  治療前にシャワー浴できます		 治療後はベッドで仰向けになり、約 60 分間安静にいただきます   治療後、トイレ歩行可能です ・シャワー浴はできません	
			 退院日よりシャワー浴、入浴できます  	
説明・指導	 医師より (外来または入院時) ・治療計画について ・髄注療法について ・合併症について		 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について	
	 看護師より ・入院生活について ・髄注療法について ・治療後の安静について		 看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)	
	 薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について			

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

03-C85-8 2024.1.17 版 京都第一赤十字病院

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。